

MCS 税理士法人立川事務所通信

1月号 VOL. 161

MCS 税理士法人立川事務所

〒190-0023

立川市柴崎町 3-11-4 東京ロジテック千代田ビル 4 階

電話：042-595-7671 FAX：042-528-6949

<http://www.mcs-office.jp> [mail:info@mcs-office.jp](mailto:info@mcs-office.jp)

相続専用 HP：<http://www.souzokushien110.com/>



えんまん

遺言相続支援センター

明けましておめでとうございます。今年 100 周年を迎えるディズニーのミッションは「(中略) 他に類を見ないストーリーテリングの力で、世界中の人々にエンターテインメント、情報、インスピレーションをお届けすること」。混迷する時代には商売でも独自のストーリーで顧客をひきつける発信力が必要とされそうですね。

知っどこ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【中小企業向けの「賃上げ促進税制」とは】

経済協力開発機構の調査によると、日本の平均賃金は 1990 年からほとんど上がっていない状況です。ところが欧米では 1.5 倍近く上がっています。政府は成長と分配の好循環による新しい資本主義を実現するため



企業による賃上げを考えており、民間企業の賃上げを支援すべく 2022 年 4 月 1 日より開始する事業年度を対象に「賃上げ促進税制」がスタートしました。中でも中小企業向けでは、青色申告書を提出する中小企業等については 2022 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの間に開始する各事業年度(個人事業主は 2023 年および 2024 年の各年)において、前年度比で給与等を 1.5% 以上増加させた場合は 15% の税額が、2.5% 以上増加させた場合は 30% の税額が控除されます。さらに教育

訓練費を前年度比で 10% 以上増加させると 10% の控除が上乘せされます。ただし税額控除額の上限は税額の 20% です。企業の節税と従業員のモチベーションアップの相乗効果が期待できそうですね。

世界の偉人伝

今月の偉人：【聖徳太子】

聖徳太子は飛鳥時代に推古天皇の摂政として新しい国づくりに貢献した政治家です。「冠位十二階」や「十七条の憲法」で官僚制度を整え、遣隋使を派遣して優れた大陸文化との交流を試みました。仏教信仰に厚く、日本最古の法隆寺など多くの寺院を建立、今にその姿を残しています。十七条の憲法第一条「和を以て貴しと為す」は、協調性を持つことが大切と説く言葉です。10 人の話を同時に聞き分けたという逸話が示すように、いかなるときも人を尊ぶ心を忘れない人物だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【hare】

2023 年はうさぎ年ですね。「バニー」と「ラビット」は定着していますが「ヘア」という言い方もあります。“bunny” は「うさちゃん」、「rabbit」は「うさぎ」、「hare」は「野うさぎ」を意味します。「二兎を追う者は一兎をも得ず」は “If you run after two hares (rabbits), you will catch neither.” といいます。童話の「ウサギとカメ」は “The Tortoise and the Hare” です。日本でよく耳にする “turtle” 「タートル」は「海ガメ」で、うさぎと競い合う「タートス」は「陸ガメ」です。



今月のトピック：【PTA代行サービス】

近畿日本ツーリストの新事業であるPTA業務の代行サービスが好評です。運動会や遠足など行事の企画や人材派遣、広報誌の作成など多岐にわたり代行します。忙しい保護者からは負担の軽減に喜ぶ声が多い一方で、学校に他人を送り込むことに否定的な見方もあります。賛否両論ある中、PTAの存在意義を問う試金石ともなりそうです。



才人の言葉

生きるとは
感謝すること
に
感謝する

「平成の経営の神様」と呼ばれた稲盛和夫の言葉。人は一人では生きていけない。家族や友人、地域社会など自分を取り巻くあらゆるものに支えられて生きている。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【桃を拾え！】

ある有名な実業家が「一生懸命やれば何とかかなと思っている人もいるけれど、成功の要因は運も大きく影響すると思う」と話していました。確かに経営者でもアスリートでも、ジャンルを問わず「成功」と「運」はワンセットで語られることが多いように思います。

「運の正体」には色々な言説がありますが、ホリエモンこと堀江貴文氏がおとぎ話の『桃太郎』をヒントにした持論はとてもユニーク



です。川上から大きな桃が流れてきても普通は気味が悪くて誰も拾わない。けれどおばあさんは桃を拾った。これは一種の異常行動である。しかも家に持ち帰り、そのあとの展開はご存知のとおり。

ではおばあさんは何を拾ったのか。流れてきた桃は何だったのか。つまり桃は「チャンス」の象徴で、おばあさんはチャンスを拾った(つかんだ)というのがホリエモンの「桃太郎理論」です。おばあさんより川上で洗濯をしていた人もいたと思いますが、その人たちは桃を拾わなかった。「流れてきた大きな桃を拾う」という通常とは違う行動をしたおばあさんだけがチャンスをものにした、というホリエモンの解釈は「運」の本質を突いていると思いました。損得の感情よりも、ここ一番の大勝負や大胆な決断ができる人に運は味方するといわれます。運はやはり通常とは違う行動をする人がお好みなのかもしれません。新たな可能性を感じつつも、変化に伴うリスクに尻込みしたり、変化自体が面倒だったりして結局、チャンスを逃してしまうことがあります。今まで一生懸命やってきて、もし行き詰まりを感じているのなら、今年は通常とは違う独自の発想で開運を願いたいものです。

トナリの本棚

【バナナの魅力を100文字で】

企画した書籍の発行部数が1000万部を超えるベストセラー編集者・柿内尚文の本です。「伝える」と「伝わる」ことは違う。使える技術が満載の一冊です。



水性の染みの中でも落ちにくいコーヒーや紅茶。まずは乾いた布で水分を吸い取ります。それでも色が残る場合は、漂白作用のある酢と消毒用エタノールを1対1で合わせたものを振りかけ、その上から乾いた布で繰り返し拭き取り、染みが少しずつ薄くなります。

